

科目ナンバリング		U-LAS41 10002 PJ49							
授業科目名 <英訳>		スポーツ実習 I B [アダプテッド・スポーツ] Sports I B [Adapted sports]				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 江川 達郎	
群	健康・スポーツ科目群			分野(分類)		スポーツ実習		使用言語	日本語
旧群	D群	単位数	1単位		週コマ数	1コマ		授業形態	実習（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	木2			配当学年	全回生	対象学生 全学向
[授業の概要・目的]									
スポーツ実施は身体機能の維持・増進に有益であるだけでなく、論理的思考力の増強や社会交流の啓発にもつながる。アダプテッド・スポーツとは、ルールや用具を改良することにより、障害の有無や身体活動能力、年齢にかかわらずスポーツ活動を楽しむことができるように工夫・適合（adapt）されたスポーツのことである。									
本授業では、障害等（疾患や怪我等による一時的な障害、その他の心身の不調を含む）のある学生とともにアダプテッド・スポーツを経験することにより、障害等に応じたスポーツの実施方法を学修する。									
障害等のある学生が履修しない場合は、様々なアダプテッド・スポーツを経験することにより、自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、生涯を通じてスポーツに興じるための心づくり・体づくりを目指す。									
[到達目標]									
・ 様々なアダプテッド・スポーツの特徴や楽しみ方を理解する。 ・ 自身の体力や技術を自覚し、自身にadaptしたスポーツの実施方法を見出し、主体的にスポーツに取り組む力を養う。 ・ 障害のある学生に配慮しながらスポーツを実施することができる。									
[授業計画と内容]									
第1回：講義（アダプテッド・スポーツの理解）									
第2回～第14回：									
下記の種目を受講人数や受講者の状況に応じて実施する。									
・ パラスポーツ（ボッチャ・ブラインドサッカー・ゴールボールなど）									
・ フライングディスク種目（アルティメット・ガッツ・ディスクゴルフなど）									
・ 野球系種目（ベースボールファイブ・キックベースボール・ティーボールなど）									
・ サッカー系種目（アンプティサッカー・フットサル・ハンドボールなど）									
・ バレーボール系種目（キャッチバレーボール・プレルボール・風船バレー・インディアカなど）									
・ テニス系種目（ピククルボール・ショートテニス・フロアテニス・タスポニーなど）									
・ バドミントン系種目（ファミリーバドミントンなど）									
・ バスケットボール系種目（ポートボールなど）									
・ ラグビー系種目（タグラグビーなど）									
・ 卓球系種目（卓球バレー・サウンドテーブルテニスなど）									
・ 車椅子種目（車椅子バスケットボール・ハンドボール・卓球など）									
・ レクリエーション系種目（ペタンク・スポーツ鬼ごっこ・大縄跳び・ウォークラリー・スポーツ吹矢・モルック・キンボールなど）									
第15回：フィードバック フィードバック回は、個人の質問に対応する。									
授業は吉田南グラウンドおよび体育館で実施する。									
-----スポーツ実習 I B [アダプテッド・スポーツ] (2)へ続く↓↓↓									

スポーツ実習ⅠB [アダプテッド・スポーツ] (2)

※障害等のある学生の履修に関しては、履修希望者と相談のうえ、障害等の特性・程度、体力レベルに応じたスポーツ種目を履修者全員で実施する。

[履修要件]

- ・障害等のある学生や体力に自信のない学生、従来型スポーツ（テニス、卓球、バレーボール、バスケットボール、サッカー等）に苦手意識のある学生、新しいスポーツを経験してみたい学生の積極的履修を歓迎します。
- ・障害等のある学生のスポーツ実習に際しては、障害等の状況に合わせた支援・調整を行います。支援を要望する学生は事前に連絡してください。
- ・スポーツ経験の有無や体力レベルは問いません。
- ・将来的に障害との関わりが深い医療・福祉、教育、スポーツ、メディア分野の職に携わる可能性がある者やスポーツボランティア、障害者支援ボランティアに興味のある者の履修を推奨します。
- ・どのようなスポーツでも楽しく行える人を歓迎します。
- ・準備や後片付けを積極的に行う受講意欲のある者を歓迎します。

[成績評価の方法・観点]

- ・学習態度（授業参加の積極性、準備・片づけの積極性、ルールの学習・理解）を総合的に評価する。
- ・2/3以上の出席を最低要件とする。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

矢部京之助 他『アダプテッド・スポーツの科学』（市村出版）ISBN:978-4-902109-01-6

[授業外学修（予習・復習）等]

- ・個々の心身の状態を十分に把握しておくこと。
- ・世界中にどのようなスポーツあるいは運動遊びが存在しているのかについて探索し、スポーツへの関心を深めておくこと。
- ・様々なスポーツを観戦し、自身の技能向上に役立てること。

[その他（オフィスアワー等）]

スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠償）に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入して、授業に参加してください。